

三角帆

平成24年度学校テーマ「学び続ける学校」

※以前は睡眠不足の子が目立っていましたが、改善してきました。ご家庭のご理解とご協力のお陰です。

保護者の皆様のご意見・ご要望から・その1

平成24年度 学校改善アンケートを実施し、8名の保護者の方々からご意見・ご要望等をいただきました。全てをご紹介します。

【保護者】

家庭学習はまだまだ親から言われないとできていません。やっぱり、テレビや遊びの方を優先してしまって勉強することを忘れてしまいがちです。でも、学校から宿題が出されると「やらなくちゃ」という気持ちが大きいので、進んでやっています。やはり、宿題は必要だと思います。

【校長】ご家庭においても、自ら進んで学習する子になってほしいと願っています。教師から宿題が出された、出されていないに関わらず、全ての子が、毎日、自ら進んで行く家庭学習に取り組んでほしいと考えています。そのために学校としては、家庭学習の手引等を配布し、家庭学習が取り組めるように働きかけをしているところです。しかしながら、特に低学年期では自ら進んで家庭学習に取り組むということはなかなか難しいというのが実際だと思います。やはり学校・学級の担任の先生から、何らかの学習課題を出して、家庭学習の習慣を身に付けていくということはとても大切な事ですので、子ども達の学習状況や家庭学習の取組の実態に応じて、適宜宿題を出し、学習習慣の形成を図っていきたいと考えています。



◆命の学習・6年生 ※助産師さん、保健師さんの協力のもと、全学年で実施しました。

【保護者】

昔から少年団活動や習い事が盛んな地域の野付。学習面の取り組みは、なかなかバランスをとるのが難しいと思います。家庭学習に力を入れるよう取り組みが始まったのは大変ありがたいのですが、少年団活動や他の事に時間が押され、まだまだ勉強時間が十分取れているとは思いません。どちらに重点を置く…というのなかなかできず、家庭でも迷いながらの指導になっているのが現状です。試行錯誤しながら、子供のためによい方向に向けられるよう学校と協力していきたいと思います。これからもよろしくお願いします。

【校長】子ども達へのアンケートや保護者の皆様へのアンケートの結果から見えてきた事は、やはり家庭学習時間が短いということです。例えば、6年生であれば、一日最低でも1時間は確保したいですね。その際、効果があるのはご家庭で約束事を決めておくということです。学校から帰ってきたらすぐに1時間勉強する。夕食前に1時間勉強する。午後7時から1時間勉強する。というように決めることです。その日によって変わる、というのはなかなか習慣化されません。習慣化されないと、どうしても子どもの生活リズムが壊



◆命の学習・6年生 ※助産師さん、保健師さんの協力のもと、全学年で実施しました。

れてしまうので、勉強をしなくなってしまうということが起きがちです。朝起きたら、歯を磨く、顔を洗うという生活習慣と同じです。それをやらないと何か気持ちが悪くという感情が、家庭学習に関しても身に付けば、学校の勉強で困ることはなくなります。そのためには、お家の方が書いているように、学校と家庭が共に協力し合って、子どもの学習習慣形成のために努力していくことが必要ですね。今後ともよろしく願います。

【保護者】

いじめの問題に力を入れて取り組んでいるのが伝わってきました。親としても学校の取り組んで下さっている姿勢に感謝です。学級内での様子、学力の面、細かく知る機会が与えられると嬉しいですね。

【校長】ありがとうございます。このように書いていただくと大変うれしく思います。以前から「どんな時であっても、いじめを許してはならない」という決意を野付小の全職員が持っていました。しかしながら、現実の子ども達の様子から、どこからいじめで、どこまでがいじめでないのか、といったことに迷いがあったのも正直なところでした。そこで、二学期から全ての子ども達に生活実態アンケートをとって、ひやかし・悪口・たたく・物を隠すといったいじめめ的な言動がないかを確認したり、アセスという標準化された客観的な診断を行い、学級の実態・子どもの学級への適応度をみてきました。そして、全員を対象に担任が個人面接をし、状況を確認し、必要に応じて指導することといたしました。また、教師が子どもと一緒に過ごす日常生活の中で、「これは変だな」「もしかしたら、これはいじめではないのかな」といった事にも十分気を付け、子ども達の言動にも気を配るようにしています。今後とも、ご家庭でも気が付いた事がありましたら、遠慮せず言っただければと思います。



◆今年度は、数多くの子ども達が各種大会、各種コンクールで頑張り、多くの入賞を果たしました。

三角帆

平成24年度学校テーマ「学び続ける学校」

※以前は睡眠不足の子が目立っていましたが、改善してきました。ご家庭のご理解とご協力のお陰です。

保護者の皆様のご意見・ご要望から・その2

【保護者】

「いじめ」は見られないと以前報告がありましたが、本当はないのでしょうか？ 決まった子ではありませんが、乱暴が毎日頻繁だったり、言うとおりにしないと仲間はずれにしたり、見た目の悪口を言ったり。大きなケガに繋がらなくても子供たちは嫌な思いをしています。先生が子供に注意してくださっても正直、治っていません。定期的に保護者に報告し、保護者がしっかりと子供のしたことを把握し、対処して欲しいと思っています。

【校長】深刻ないじめはないと認識しています。しかし、深刻ないじめ・悪質ないじめまで行かないような「いじめ的な言動はある」と認識しています。例えば、悪口・陰口・ひやかし・ちょっかい・たたく等です。それらは子どもたちに悪意はなかったとしても、される側の子供達にしたら嫌な思いをすることにつながっています。学校では教師が日々気を付けて子ども達の言動を見ています。そして、早期発見・早期対応ということを心掛けています。決して悪意はなくても、行き過ぎた「悪ふざけ」が見られ、それらについても指導するようにしています。言葉遣いや乱暴さを少しでもなくすために、「野付小のあたりまえ十ヶ条」に取り組んでいます。これは、いじめを直接的に指導するというのではなく、日々の言葉遣いや行動の乱暴さを正していくことが、結果としていじめ言動を減らすことにつながると考えるからです。ただ、いじめ言動を無くしていくためには、学校だけの取組だけでなく、ご家庭でのご理解とご協力が不可欠です。今後とも、個人情報に気を付けながら、できる範囲の中で情報は公開していきますのでよろしくお願いします。



◆ボランティア委員会で老人会を訪問しました。一緒にゲームをしたりして楽しみました。



【保護者】

保護者に対し、発達障害などの学習会を企画して頂きありがとうございます。今、かなり発達障害が増えてきているので、もっと学べる場を多く提供して頂けるといいと思います。また、親の理解も必要ですが、子ども達の理解も大切なので、子ども達にも「こういうことが苦手な子がいる」ということを教えていくことも必要だと思っておりますので、よろしくお願いします。

【校長】北海道医療大学の先生による学習会は大変好評でした。次年度も継続して実施する予定です。一人ひとりの子は、違って当たり前です。ですから、一人ひとりの子の個性や特性に応じて、適切な対応が必要となっています。そのためには、教師も含めて周囲の大人たちの誤解や偏見、間違った理解を正していかなければなりません。日常の学校生活の中では、子ども同士のトラブル、いざこざ、けんか、もめごとが起きています。そうしたことが起きるたびに、教師側で指導するようにしています。



◆5年生は、野付学の学習で、漁協さんや漁師さんのご理解とご協力で氷下待ち網漁を体験しました。

【保護者】

『親（保護者）が知るべき、共に考えるべき』事をしっかり、明確に伝えて欲しい。（いじめ、ネット問題...）

【校長】その通りです。伝えているつもりでしたが、どこかあいまいさの残る伝え方だったのだと思います。今後は、知るべき事・共に考えるべき事をしっかりお伝えしていきます。そのために、学校通知文書、学校便り、学校ブログ、学級通信等ばかりでなく、参観日における全体懇談やPTAの会合等を利用し、明確に伝えるようにしていきます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



◆毎年恒例のふれあい学習。今年も多くのお父さん、お母さん方に参加していただき、有意義な学習ができました。

【保護者】

ロータリーの進入禁止は効き目があると思います。

【校長】ありがとうございます。保護者の皆様のお陰で、学校前の混雑が緩和され、歩いて登校する子ども達の安全が確保されるようになっていきます。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

【保護者】

いつも朝早くから雪かきをしてくれている教頭先生には頭が下がります。ありがとうございます。これからも子供たちのこと色々よろしくお願い致します。

【校長】職員の頑張りや動きを認めてくださり、大変ありがとうございます。このような応援メッセージは、大変励みになり、うれしくおもいます。今後とも、何かお気づきの点等がありましたら、遠慮せずお伝えしていただければ大変助かります。